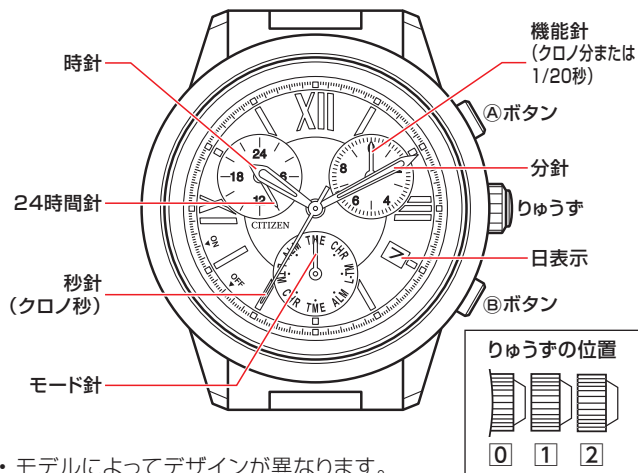


# A51\* 簡易操作ガイド

・仕様 / 操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。  A51\*取扱説明書

## 各部の名称



・モデルによってデザインが異なります。

## 時刻とカレンダーを合わせる

### 秒と分を合わせる

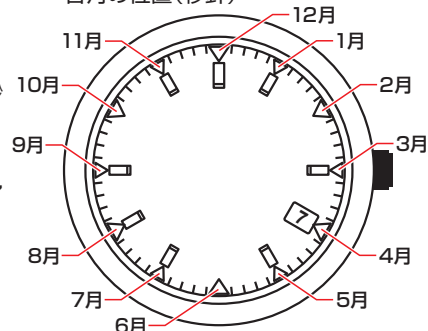
1. りゅうずの位置を①にする
2. りゅうずを回して、モード針が「TME」を指すようにする
3. りゅうずの位置を②にする  
秒針が0秒に移動して、止まります。
4. りゅうずを回して、時刻を合わせる
  - ・24時間針を見て、午前 / 午後の違いに注意します。
  - ・りゅうずを素早く回転させると、針が連続して回転します。りゅうずを少し回すと止まります。
5. 時報に合わせて、りゅうずの位置を①にして、終了する  
秒針が動き始めます。

### 月と日を合わせる

1. りゅうずの位置を①にする
2. りゅうずを回して、モード針が「TME」を指すようにする
3. りゅうずの位置を①にする  
秒針が現在の「月」の設定を表示します。
4. りゅうずを左に回して、日表示を合わせる
  - ・りゅうずを素早く回転させると、日表示が連続して回転します。りゅうずを少し回すと止まります。
  - ・存在しない日(例えば2月30日)に合わせると、操作終了後、翌月の1日に日表示が切り替わります。

5. ② ボタンをくり返し押し、「月」を合わせる
  - ・右図を参考に、秒針を合わせます。

各月の位置(秒針)



6. りゅうずの位置を①にして、終了する
  - 秒針が現在の秒まで移動して、動き始めます。

### 「日」がカレンダーの窓の中央にない場合

強い衝撃等で「日」がカレンダーの窓からずれている場合は、「基準位置を修正する」の「機能針と日表示の修正」に従って、正しい基準位置に合わせ直してください。

## クロノグラフを使う

1/20(0.05)秒単位、最大60分まで計測できます。

1. りゅうずの位置を①にする
2. りゅうずを回して、モード針が「CHR」を指すようにする
  - 秒針、機能針が0位置に早送りされます。
  - ・秒針：クロノ秒針に切り替わります。0秒スタート時のみ、秒針が早送りで一週し、その後クロノ秒として1秒運針を行います。
  - ・機能針：クロノ分またはクロノ1/20秒に切り替わります。クロノ分として1分ごとに運針します。
  - スタート / ストップ：① ボタンを押します。
  - ・ストップ中に② ボタンを押し続けると、クロノグラフ分針が1/20秒の位を表示します。ボタンを離すと戻ります。
  - リセット：ストップ中に、① ボタンを押し続けます。

## ローカルタイムを設定する

モードを「L-TM」(ローカルタイム)にすると、他の地域の時刻が表示されます。

- ・「TME」(時刻/カレンダー)の時刻を基準に、±23時間の範囲(1時間単位)で、時差を設定します。
- ・分針と秒針は、「TME」と共通です。

## ローカルタイムを表示する

1. りゅうずの位置を①にする
2. りゅうずを回して、モード針を「L-TM」(ローカルタイム)に合わせる  
ローカルタイムが表示されます。

## 時差の設定を変更する

1. モード針が「L-TM」(ローカルタイム)を指しているときに、りゅうずの位置を②にする
2. りゅうずを回して、時差を設定する
  - ・時差の範囲がマイナスのときは、りゅうずを左に回し、プラスのときは、右に回します。
  - ・設定中に時針が午前0時を通過すると、日表示が切り替わります。日表示の切り替わりには、若干時間がかかります。
3. りゅうずの位置を①にして、終了する

次へ続く

## アラームを使う

1. リューズの位置を①にする
2. リューズを回して、モード針が「ALM」を指すようにする  
時針、分針、24時間針が現在のアラーム設定時刻を示し、秒針が現在のアラーム設定(ON / OFF)を示します。
3. リューズの位置を②にする  
アラーム設定が自動的に「ON」になります。
4. リューズを回して、アラーム時刻を設定する
  - アラーム時刻の午前・午後との区別は、24時間針で確認します。
  - リューズを素早く回転させると、針が連続して動きます。リューズを少し回すと止まります。
  - アラーム時刻は、ローカルタイムに合わせて設定することはできません。
5. リューズの位置を①にして、終了する

## アラームのON / OFF を切り替える

「ALM」で、リューズの位置を①または②にして、Ⓐ ボタンを押します。

## アラーム音をとめる

いずれかのボタンを押します。  
• アラーム音は、約15秒間鳴ります。

## アラーム音を確認する

「ALM」で、リューズの位置が①のとき、Ⓐ ボタンを押し続けると、アラーム音を確認することができます。

## 基準位置を確認する

1. リューズの位置を①にする
2. リューズを回して、モード針が「CHR」を指すようにする
3. リューズの位置を①にする  
各針が高速で動き出し、現在の基準位置が表示されます。
  - 正しい基準位置：  
すべての針が12時位置、日表示が「1」
 現在の基準位置が正しい基準位置と異なるときは、「基準位置を修正する」に従って、基準位置を修正します。
4. リューズの位置を①にして、終了する



## 基準位置を修正する

### 時針、分針、秒針、24時間針の修正

1. リューズの位置を①にする
2. リューズを回して、モード針が「CHR」を指すようにする
3. リューズの位置を②にする  
秒針が0秒に移動して、止まります。
4. Ⓐ ボタンを押して、秒針を合わせる
5. リューズを回して、時針、分針、24時間針を合わせる
  - リューズを素早く回転させると、針が連続して回転します。リューズを少し回すと止まります。
6. リューズの位置を①にする

### 機能針と日表示の修正

1. リューズの位置を①にする
2. リューズを回して、モード針が「CHR」を指すようにする
3. リューズの位置を①にする
4. リューズを左に回して、日表示を合わせる
  - リューズを素早く回転させると、日表示が連続して回転します。リューズを少し回すと止まります。
  - 機能針の正しい基準位置は、日表示が1日に変わった直後の12時位置です。  
日表示を31日まで進め、その後Ⓐ ボタンを押しながら小刻みに機能針を修正します。日表示が1日に変わったことを確認してから、機能針を12時位置に合わせます。
5. リューズの位置を①にする

## オールリセットを行う

1. リューズの位置を①にする
2. リューズを回して、モード針が「CHR」を指すようにする
3. リューズの位置を②にする  
すべての針と日表示が、現在の基準位置に移動します。
4. Ⓐ ボタンとⒷ ボタンを同時に押す  
確認音が鳴り、各針がデモ運針をして、オールリセットが行われたことを示します。

### オールリセットのあとは

オールリセットのあとは、基準位置、時刻、カレンダーを合わせ直してください。